

夜の片鱗（1964）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 1964/11/01

【解説】

太田経子の原作を権藤利英が脚色し中村登が監督した。

下請け工場に勤める野上芳江は、夜はバーでホステスとして働いていた。バーには北見英次というなじみ客が来ており、芳江を夜の街に誘った。十九歳の芳江は興味本位でついていき、そのままホテルで体を許してしまう。芳江はそのまま英次のアパートで同棲を始め、工場も休みがち、実家にも帰らない日々が続いた。英次は街のチンピラで、金がなくなると芳江に売春を強要した。恐怖と諦念から、英次が連れてくる客を相手にする芳江だったが、次は街に出て客を取れと言われアパートを逃げ出す。しかし数日後、英次の所属する組のヤクザに捕まり、芳江はリンチを受けてしまう。街に出て客を取るようになった芳江は、建築技師の藤井と出会った。

【クレジット】

監督 中村登
製作 島田昭彦
原作 太田経子
脚本 権藤利英
撮影 成島東一郎
美術 佐藤公信
編集 浦岡敬一
音楽 日暮雅信
出演 桑野みゆき
園井啓介
菅原文太
平幹二郎
木村功
岩本多代
富永美沙子
広村芳子
松原浩二
田中晋二
千石規子
河野秋武